

## 介助量を数値化する意味とは？

～移乗2名介助から歩く練習ができるまでになった事例を通して～

くらし事業部 お客様連携係 中尾亮介

## FIM(機能的自立度評価)を導入しました。

### FIMとは？

#### 目的

- ▶ 介助量を数値化する
- ▶ 自立支援につながる視点を持てる

#### 内容

- ▶ 運動13項目、認知5項目の18項目からなる。
- ▶ 1項目7点満点(最高126点、最低18点)。



### どうしてFIMを始めたのか？

当園では様々な取り組み(学習、栄養ケア、介護力、機能訓練...)をしている。

お客様の変化はわかるが、客観的にあらわすものは？

栄養ケアだとアルブミン値(血中タンパク濃度)がある...

生活全般の介助量がわかるFIMで取り組みの成果を見れるのでは。

導入へ

### どうしてFIMを始めたのか？

特養でFIMを導入している施設はとても少ない...

基準値を設定し、新たな根拠づくりに繋がれば。

### 運動項目の内容 13項目

分類	内容	
セルフケア	食事、整容、清拭、更衣(上)、更衣(下)、トイレ動作	6個
移乗	ベッド及び車椅子、トイレ、浴槽	3個
排泄コントロール	排尿、排便	2個
移動	車椅子もしくは歩行、階段	2個



## 認知項目の内容 5項目



分類	内容	
コミュニケーション	理解、表出	2個
社会的認知	社会的交流、問題解決、記憶	3個

## 点数の基準

介助者	点数	程度
×	7点	完全自立
	6点	装具等使用、時間かかるが自立
○	5点	見守りが必要
	4点	わずかに介助(25%)
	3点	中等度介助(50%)
	2点	おおよそ介助(75%)
	1点	全介助

## A氏 入居時(H28. 12)の様子



## A氏 入居時のFIM 運動項目

運動項目	入居時(H28. 12)
食事	5
整容	5
清拭	1
更衣 上半身	2
更衣 下半身	1
トイレ動作	1
排尿管理	2
排便管理	4
ベッド・車椅子等移乗	1
トイレ移乗	1
浴槽・シャワー移乗	1
移動	1
階段	1
運動項目 合計	26

7点...自立  
6点...道具等で自立  
5点...見守りのみ。  
4点...わずかに介助  
3点...中等度介助  
2点...おおよそ介助  
1点...全介助

## A氏 入居時のFIM 認知項目

認知項目	入居時(H28. 12)
理解	5
表出	5
社会的交流	5
問題解決	5
記憶	5
合計	25
<b>運動・認知合計</b>	<b>51</b>

7点...自立  
6点...道具等で自立  
5点...見守りのみ。  
4点...わずかに介助  
3点...中等度介助  
2点...おおよそ介助  
1点...全介助

**介護度:4**

## 実施したこと

・**介護技術研修**での実践。



・機能訓練として、起きる際動き出しを待つ。  
・端座位となってお辞儀運動を行う。

・はつらつコーラスで**会長**。  
・はじまりとおわりの**挨拶**。



## A氏 FIMの変化 運動項目

運動項目	H28. 12	H30. 3
食事	5	5
整容	5	5
清拭	1	1
更衣 上半身	2	3 改善
更衣 下半身	1	1
トイレ動作	1	2 改善
排尿管理	2	2
排便管理	4	6 改善
ベッド・車椅子・椅子移乗	1	5 改善
トイレ移乗	1	5 改善
浴槽・シャワー移乗	1	1
移動	1	5 改善
階段	1	1
運動項目 合計	26	42

7点...自立  
6点...道具等で自立  
5点...見守りのみ。  
4点...わずかに介助  
3点...中等度介助  
2点...おおよそ介助  
1点...全介助

## A氏 FIMの変化 認知項目

認知項目	H28. 12	H30. 3
理解	5	6 改善
表出	5	6 改善
社会的交流	5	7 改善
問題解決	5	5
記憶	5	5
合計	25	29
運動・認知合計	51	70

7点...自立  
6点...道具等で自立  
5点...見守りのみ。  
4点...わずかに介助  
3点...中等度介助  
2点...おおよそ介助  
1点...全介助

**介護度:4から3へ(H29. 6)**

## 9か月後...(H29. 9)



## 10か月後...(H29. 10)



## 主な改善項目

	入居時(H28.12)	現在(H30.3)
更衣(上半身)	「着せてください」と介助を希望される。	両袖通し、引きおろしができる。
排便管理	パット交換	便意を訴え、トイレで排泄。
移乗	2名で介助	見守り
移動	介助	行事への参加、居室へ戻る際に自分で車いすを漕がれる。
社会的交流	周りに迷惑をかけることなく参加	拍手したり、他の方を褒めたりなど盛り上げようとふるまう。

## 何故A氏は改善したのか？



**主に運動項目が改善**

自宅での独居生活⇒骨折による入院⇒治療し入居へ。

改善しやすい状態ではあった...？

## 何故A氏は改善したのか？

しかしめまいがある...寝返りしただけでも嘔吐されていた。

- ・日頃のケア
- ・委員会活動
- ・ほぼすべてのサークル活動を希望
- ・会長としての役割
- ・ご家族による週1回の面会、数か月に1回自宅へ帰る...



**日頃のケアに加え  
委員会、サークル参加、役割、家族との関わりが大切**

## ユニット別にみたFIMの点数 (H29. 12現在)

ユニット	合計 (128点満点)	運動 (91点満点)	認知 (35点満点)	平均介護度
ほほえみ(従)	<b>62</b>	<b>45</b>	17	3.5
ふれあい(ユ)	61	44	17	3.5
ひまわり(ユ)	58	40	18	3.8
きらら(従)	52	37	16	3.6
いこい(ユ)	52	33	<b>19</b>	3.8
ほたる(従)	45	31	14	3.9

ほほえみ12名中...独歩5名  
独歩でないが歩ける3名  
ターミナル2名

## ユニット別にみたFIM認知項目の点数 (H29. 12現在)

ユニット	認知 (35点満点)	平均介護度
いこい(ユ)	<b>19</b>	3.8
ひまわり(ユ)	18	3.8
ほほえみ(従)	17	3.5
ふれあい(ユ)	17	3.5
きらら(従)	16	3.6
ほたる(従)	14	3.9

## 介護度別にみたFIMの点数 (H29. 12現在)

要介護度 (人数)	合計 (128点満点)	運動 (91点満点)	認知 (35点満点)
介護1 (1名)	<b>104</b>	<b>73</b>	<b>31</b>
介護2 (3名)	83	64	19
介護3 (28名)	72	53	20
介護4 (18名)	47	32	15
介護5 (19名)	31	17	13

介護度2～介護度3は開きが**11点**  
介護度4～介護度5は開きが**16点**  
介護度3～介護度4は開きが**25点**←他よりも大きい！

## 今後FIMをどう活用するのか？

○同じ一人のお客様を2回、3回と測定していく  
→**点数の増減を見る**ことで、日頃のケアや園で開催している委員会等の**効果判定**ができる。

○要介護度3と4の点数の開きを考察する  
→要介護3と4を**分ける要因**に近づけるかもしれない。